

チェスト!

第44回全日本民医連呼吸器疾患研究会in鹿児島NEWS

発行日:2019年10月7日

Vol.15

第44回全日本民医連呼吸器疾患研究会in鹿児島 (2日目)

学習講演「呼吸管理と多職種・地域連携」

陳和夫教授(京都大学大学院医学研究科呼吸管理睡眠制御学講座)



[参加者より]

- 呼吸管理の包括的講演、呼吸と睡眠、診療報酬と日常診療との関連等が、よく理解できて良かった。
- NPPV、CPAPの歴史が興味深く呼吸管理のポイントも勉強になりました。

[陳教授より]

- 「良心的医療機関が少なくなりました。先生方大変でしょうが是非頑張ってください。」と激励のお言葉を頂きました。

パネルディスカッション「地域・多職種連携と呼吸器診療」



[参加者より]

- 一つの症例を多職種の立場から検討する試みが良かったと思います。
- 小児を含めて、鹿児島の呼吸器診療のレベルの高さに感動しました。
- 多職種が各専門性を発揮している様子が印象的でした。
- “ゆっちゃんの歌”に感銘し泣きそうになりました。
- 久々の参加でしたが、分科会も二日目のシンポジウムも、さすが民医連、という内容でした。参加者が目標に届かなかったのは残念でしたが、参加した人の満足度は高かったと思います。

座長賞発表・表彰・閉会式

2日間をとおして「地域・多職種連携と呼吸器診療」について学びを深める機会になったのではないかと思います!

次回開催地は「大阪」です!

来年またお会いしましょう!!



<次回開催地：大阪からご参加のみなさま>

2日間あいがとさげました!!



座長賞(優秀演題)のみなさま

分科会		所属	氏名(職種)
A I	誤嚥予防を目的とした経管栄養投与時の体位統一への取り組みについて	福岡・千鳥橋病院	梶原有咲(看護師)
A II	吸入手技の指導方法再統一にむけて	大阪・西淀病院	濱本泰葉(看護師)
A III	人間ドックで胸部CTにて気腫性変化を認めながら、一秒率が正常範囲であった症例の検討	山形・鶴岡協立病院	高橋牧郎(医師)
B I	ネーザルハイフローで在宅生活が実現できた1事例からの学び	長野・松本協立病院	小林菜乃(看護師)
B II	肺癌に対して使用した免疫チェックポイント阻害剤使用にて下垂体障害を発症した1例	東京・立川相互病院	奥野衆史(医師)
B III	ICUにおける離床プロトコル表を使用した早期離床活動の取り組みについて	鹿児島生協病院	永田健二(理学療法士)
C I	術後再発より15年間生存中の肺腺癌症例	東京・大病院	高野智子(医師)
C II	NPPV使用下でのインターバルトレーニングが有効であった重度COPDの一症例	新潟・下越病院	伊藤葉奈(理学療法士)
C III	健康診断で異常影が指摘されていたが経済的な理由から精密検査を受ける事ができなかった事例	宮崎生協病院	河野沙貴(看護師)

【お問い合わせ先】 第44回全日本民医連呼吸器疾患研究会事務局

〒891-0141鹿児島市谷山中央5-4-12(鹿児島民医連事務局内)

☎ 099-266-1531 FAX 099-266-1530 E-mail info@kagoshima-min.jp